

第5課 サンダルを買おう

■未来形（叙想法）

[मैं] कैसी सैंडल दिखाऊँ ?

√+ऊँ

「(私は)どんなサンダルをお見せしましょうか？」

動詞の語根√に次の活用語尾を加え、不確実な未来について述べます。主語にしたがって、語尾は一人称単数-ऊँ・複数-एँ、二人称単数-ए・複数-ओ、三人称単数-ए・複数-एँとなります。主に次の3つの用法があります。

(1) 不確実なことを表します。

अगर [आप] फिर भी ठीक न हो, तो मैं आपको अस्पताल ले चलूँगी।

もし(あなたが)それでもよくならなかつたら、私はあなたを病院に連れて行きますよ。(第6課)

(2) 話者の意向や願望を表します。

सादी ही हो, तो ठीक है।

シンプルでありますように、そうならいいです。=シンプルがいいです。

(3) 勧誘や丁寧な依頼を表します。

वह रही दुकान तुम्हारे सामने, [हम] चलें।

お店は目の前よ、(私たちは)行きましょうか？(第4課)

■未来形（直接法）

मैं भी सात सौ रुपए ही दूँगी।

√+ऊँ+गी

「私も700ルピーだけ払しましょう」

叙想法未来形に語尾-गा(男性・単数)、-गे(男性・複数)、-गी(女性・単数/複数)を加えると、直接法未来形になります。これは叙想法よりも確実性や可能性が高いことを表します。

क्या इसी डिजाइन में ब्राऊन रंग मिलेगा ?

このデザインで茶色は手に入りますか？

ヒンディー語

[मैं] सात सौ रुपए लगा दूँगा ।

(私は)700 ルピーにしておきましょう。

[हम] फिर साथ मिलकर शॉपिंग करेंगे ।

(私たちは)またいっしょにショッピングをしましょうね。

□所有表現（1）

ヒンディー語には、have のようないわゆる所有動詞がありません。そのため、所有者を○とすると、○ के पास ~ होना「○のもとに(~がある)」という表現を用います。

हमारे पास सैण्डलों की बहुत वैराइटी है ।

私たちのもとにはサンダルの豊富なバラエティーがある。

=当店はサンダルのバラエティーに富んでいます。

इस रंग की साड़ी तो मेरे पास है ।

この色のサリーなら私のもとにある。=この色のサリーなら私は持っています。(第10課)